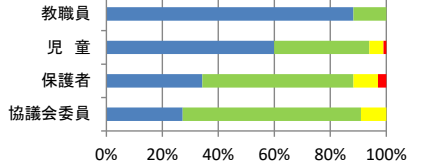
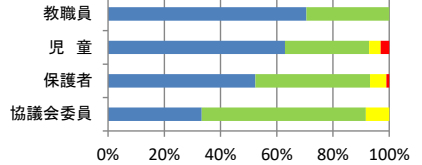
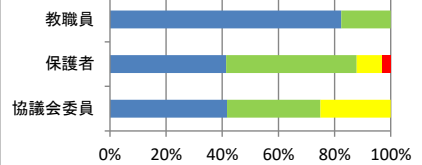


回答率：協議会委員100%、保護者66%、児童94%、教職員100%

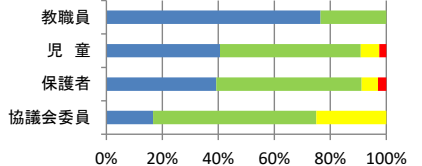
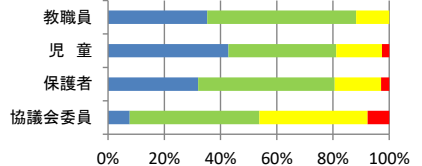
### 学校教育目標

1	教育方針・目標の理解	2	意欲的な学校生活	3	教師の連携協力
学校は、児童や保護者に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。		子供は、充実した学校生活を送っていると思いますか。		全職員で、連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。	
					
<p>＜考察＞ ※「4 そう思う」と「3 どちらかといえばそう思う」の回答は「肯定的な回答」と表記。 ※（ ）内は昨年度との比較（向上・維持は青字、低下は赤字）</p> <p>【1】肯定的な回答率が、<b>学校運営協議会委員</b>（以下：協議会委員）<b>91%（-9）</b>、<b>保護者88%（-7）</b>、<b>児童94%（+1）</b>、<b>教職員100%（+5）</b>であった。児童の肯定率が向上したことは、学校教育目標が短いフレーズであることや、集会や各学級で分かり易く繰り返し伝え、常にこの学校教育目標を意識した活動を促してきた成果と考える。この学校教育目標は全教育活動の基盤であり、その周知はとても重要なことと考え、これまでも様々な工夫を講じてきたので、今後も粘り強く継続していきたい。</p> <p>【2】肯定的な回答率が、<b>協議会委員92%（-8）</b>、<b>保護者93%（-3）</b>、<b>児童93%（±0）</b>、<b>教職員100%（+5）</b>であった。特に児童の肯定率が高かったことは、学校総体で取り組んでいる授業改善や個別指導の充実、生徒指導の4機能を生かした教師の働きかけによる自己教育力の育成などが、児童の充実度に繋がったものとする。</p> <p>【3】肯定的な回答率が、<b>協議会委員75%（-25）</b>、<b>保護者88%（-6）</b>、<b>教職員100%（±0）</b>であった。教職員の肯定率が100%を維持したことは、学校行事や教科指導、生徒指導などにおいて、情報共有のもと全職員で協働して取り組んでいる、いわゆる「チーム」を実感している表れと考える。</p>					

### 教科指導について

4	授業づくりの工夫	5	意欲的な学習態度	<div>&lt;考察&gt;</div> <div>【4】肯定的な回答率が、協議会委員92% (-8)、保護者94% (+1)、児童90% (+1)、教職員100% (+6)であった。特に児童の肯定感が向上していることは、学校総体で行っている子供を主語にした授業改善（魅力ある学習課題・必要性をもった話し合い・学びを生かす振り返りなど）が浸透してきた成果と考える。</div> <div>【5】肯定的な回答率が、協議会委員92% (-8)、保護者87% (±0)、児童91% (+3)、教職員94% (±0)であった。特に児童の肯定率が向上したことは、【4】で記述した授業改善や生徒指導の4機能を生かした教師の働きかけによる自己教育力の育成、魅力的な教材開発、ICTの効果的な活用などの成果と考える。</div>
学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。		子供たちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。		
<div><div>教職員</div><div>児童</div><div>保護者</div><div>協議会委員</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>0%20%40%60%80%100%</div></div></div>		<div><div>教職員</div><div>児童</div><div>保護者</div><div>協議会委員</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>0%20%40%60%80%100%</div></div></div>		

### 道徳教育 心の教育について

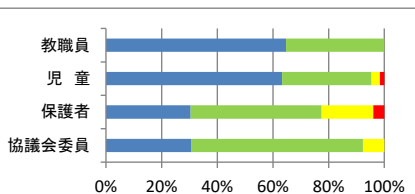
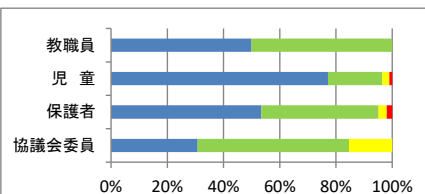
6	道徳、心の教育の充実	7	あいさつ、礼儀の励行
学校は、思いやりなどを大切にする心の教育の充実に努めていると思いますか。		子供たちは、あいさつがきちんとできていると思いますか。	
			

＜考察＞

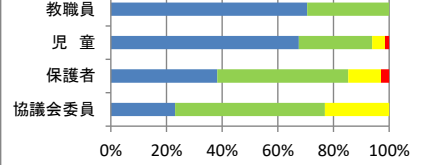
【6】肯定的な回答率が、協議会委員75%(-25)、保護者91%(-2)、児童91%(-1)、教職員100%(±0)であった。協議会委員と保護者と児童の肯定率が低下したことから、今後、学校総体での心遣い（ボランティアなどの見える思いやり）の奨励と賞賛に一層努めたい。また、子供たちの実生活に即した道徳科教育を進め、道徳的心情・判断力・実践力の育成に努めたい。

【7】肯定的な回答率が、協議会委員54%(-30)、保護者81%(-7)、児童81%(-5)、教職員88%(-7)であった。4者の肯定率が低下したことから、現行の取組である「挨拶について」学校は練習の場、本番は地域社会」を合い言葉にした教職員の率先垂範と児童会活動の支援を更に強化したい。また、地域や家庭と連携した、地域総ぐるみでの挨拶の普及に寄与したい。

### 人権同和教育について

8	一人一人の児童の尊重	9	友達への思いやり																				
学校は、一人一人の子供を大切にしたい指導や対応ができていますか。		子供たちは、友達となかよくしていると思いますか。																					
 <table border="1"><thead><tr><th>対象</th><th>肯定的な回答率</th></tr></thead><tbody><tr><td>教職員</td><td>100%</td></tr><tr><td>児童</td><td>95%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>77%</td></tr><tr><td>協議会委員</td><td>92%</td></tr></tbody></table>		対象	肯定的な回答率	教職員	100%	児童	95%	保護者	77%	協議会委員	92%	 <table border="1"><thead><tr><th>対象</th><th>肯定的な回答率</th></tr></thead><tbody><tr><td>教職員</td><td>95%</td></tr><tr><td>児童</td><td>96%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>95%</td></tr><tr><td>協議会委員</td><td>85%</td></tr></tbody></table>		対象	肯定的な回答率	教職員	95%	児童	96%	保護者	95%	協議会委員	85%
対象	肯定的な回答率																						
教職員	100%																						
児童	95%																						
保護者	77%																						
協議会委員	92%																						
対象	肯定的な回答率																						
教職員	95%																						
児童	96%																						
保護者	95%																						
協議会委員	85%																						
<p>＜考察＞</p> <p>【8】肯定的な回答率が、協議会委員92%（±0）、保護者77%（-9）、児童95%（+2）、教職員100%（±0）であった。児童の肯定率が向上したことは、これまで学校総体で取り組んできた一人一人の子供に応じたきめ細かな指導の成果と考える。今後も、困り感（どうしたの？何か困っているの？）や自己決定（どうしたいの？）などについて丁寧に聴き取り、できる支援を模索し・実行していきたい。</p> <p>【9】肯定的な回答率が、協議会委員85%（-25）、保護者95%（±0）、児童96%（-3）、教職員100%（±0）であった。児童の肯定率は低下したものの保護者と教職員同様に95%を超え高いことから、学校教育活動の大半を占める授業を中心に、コミュニケーションや相互理解（分かり合う）、相互評価（認め合う）の機会を多く設けた成果と考える。今後もコミュニケーションを基に、より良い人間関係づくりを進めたい。</p>																							

### 学校行事について

10	学校行事等の工夫
学校は、学校行事（運動会など）が工夫されていると思いますか。	
	
<p>＜考察＞</p> <p>【10】肯定的な回答率が、<b>協議会委員77%（-15）</b>、<b>保護者85%（-7）</b>、<b>児童94%（-3）</b>、<b>教職員100%（±0）</b>であった。肯定率が協議会委員と保護者と児童の3者で低下したが、児童は以前として94%と高いことから、各種学校行事等の目標を明確にし、事後の振り返りにより変容や伸長を自覚させることで、満足度が高まっていると考える。今後も時間対効果を考え、教育的効果の高い学校行事等を創造したい。</p>	

生徒指導 教育相談について

11	児童理解	12	規範意識	13	いじめや問題への対応
----	------	----	------	----	------------

[1] 肯定的な回答率が、協議会委員83%（-17）、保護者84%（-10）、児童90%（-3）、教職員94%（-6）であった。特に児童と教職員の肯定率が低下していることから、「結果ではなく挑戦したことをほめる（ほめる機会の増大にもなる）」、「変容を褒める（児童の実感が伴った賞賛）」をもう一度全教職員で共有し実践したい。

[2] 肯定的な回答率が、協議会委員83%（-17）、保護者94%（+3）、児童90%（-3）、教職員100%（+5）であった。保護者と教職員は高まりを感じているようだが、児童は、自身の言動を厳しく評価しているようだ。今後も生徒指導の4機能を生かした教師の働きかけにより自己教育力を育て、自身の言動を律する（「自分の心に線を引く」）ことができる児童を育てていきたい。そして、地域の方々と保護者との共通理解のもとに社会で規則やマナーが遵守できるように高めてい

[3] 肯定的な回答率が、協議会委員58%（-27）、保護者80%（-7）、児童95%（-1）、教職員100%（±0）であった。児童の肯定率が僅かに低下しているものの以前として高いことから、いじめの未然防止に向け毎月実施している「心のアンケート」、それを基に実施する「個別面談」、また、心になることがあった際の家庭と連携（情報共有、共通理解、共通実践）、必要に応じた関係機関と連携（専門的なアプローチ）などが、児童の安全・安心の実感に繋がったと考える。

健康教育 安全について

14	安全と事故防止	15	体力向上	<p>&lt;考察&gt;</p> <p>[14] 肯定的な回答率が、協議会委員73%（-17）、保護者86%（+2）、国音95%（+5）、統籌局100%（+0）。</p>
----	---------	----	------	--

【14】肯定的な回答率が、協議会委員73%（-17）、保護者86%（-7）、児童95%（+5）、教職員100%（+0）であった。確かに怪我等は減少しているので、児童の占定率の向上はうなづける。これは、全職員による毎月の安全点検の徹底や、児童に危険予知能力を育成してきた成果と考える。また、地域での事故等も減少している。これは地域総ぐるみでの見守りの賜物と考える。

【15】肯定的な回答率が、協議会委員77%（-16）、保護者62%（-13）、児童75%（-20）、教職員100%（+5）であった。社会体育への加入率が上がらない中、児童の運動離れ及び体力の低下は否めない。学校としては、業間の時間に実施している全校体育の回数を増やしたり、昼休み時間の外遊びを引き続き奨励したりして対処したい。また、現行の体力診断テストで見えにくい課題の克服に向けた体育時の補強運動も引き続き実施したい。

## 学校環境について

16	環境の整理・美化	17	施設・設備の安全管理	<p>＜考察＞</p> <p>【16】肯定的な回答率が、協議会委員77％（-13）、保護者95％（-1）、児童93％（+0）、教職員100％（+0）</p>
----	----------	----	------------	--

**【16】** 肯定的な回答率が、協議会委員77%（-13）、保護者95%（-1）、児童93%（±0）、教職員100%（±0）であった。まずもとめて、地域の方による学校敷地の毎日の清掃や花の苗の寄贈に心より感謝する。今後も児童会活動及びボランティア活動を中心に、花壇や運動場、掲示板等の整備及び管理に努めたい。

**【17】** 肯定的な回答率が、協議会委員85%（-15）、保護者95%（±0）、児童91%（-3）、教職員100%（±0）であった。今後も毎月全職員で実施している校内安全点検の徹底や、日常的な危険箇所の確認（ヒヤリ・ハット報告）等に努め、見出した問題点は関係機関との連携のもと直ちに改善していきたい。

**情報の公開・発信について**

18	学校の予定等がわかる情報発信	19	教育活動への参加	20	家庭や地域との連携協力
----	----------------	----	----------	----	-------------

グループ	Blue (%)	Green (%)	Yellow (%)	Red (%)
教職員	70	20	10	0
保護者	30	60	10	0
協議会委員	15	40	10	35

【18】肯定的な回答率が、協議会委員85%(-8)、保護者88%(-1)、教職員100%(±0)であった。今年度は、地域の方や保護者へ学校のことを知っていただくこと、学校だより(2月末まで35号発行)や学級だより(毎週発行)、学校ホームページ(毎日更新)や学校メール(随時送信)などを通して、様々な情報は随時発信してきた。また、授業参観等に参加し易いようにと考え、行事予定をホームページ上で順次更新したり、通知文を早急に発行したりした。今後このような取組を地道に重ねていきたい。

【19】肯定的な回答率が、協議会委員83%(-17)、保護者88%(±0)、教職員100%(±0)であった。保護者の肯定的率が高いのは、関心が高い児童の安全・安心、健康育成に係る「情報ネット」講習会を専門機関と連携して授業参観時に行ったり、【18】で述べたように行事等の通知を早くの知らせで成果と考える。

【20】肯定的な回答率が、協議会委員54%(-46)、保護者85%(+1)、教職員94%(-6)であった。保護者の比率が向上したことは、数回にわたる（不平等・不満に変わる前に）疑問は速やかに情報集約担当者等へ連絡していただくよう周知し、丁寧かつ迅速に対応した成果と考える。協議会委員の比率が大きく下がったことから、学校運営協議会によってより学校運営に係る助言を得たい。今後三者の「協働と分担」を大切にしたい。

○【あいさつ、礼儀の励行】 教師の率先垂範と児童会の挨拶推進運動の支援、地域総ぐるみでの挨拶の推進  
○【体力向上】 全校体育の回数増大や昼休みの外遊びの奨励等、地域総ぐるみでの運動の推進  
※今年度は保護者の回答率が低かったため、回答方法を（インターネットから）昨年度までの紙媒体に戻したい。